

第106回 二科展巡回鹿児島展

巡回鹿児島展が令和5年3月5日(日)～12日(日)、鹿児島県立歴史・美術センター黎明館で開催された。

巡回鹿児島展は初日のオープニングに南日本新聞社、黎明館館長の同席を戴き、西健吉理事3人でテープカットを行いスタートした。会期7日間、鹿児島に「春を呼ぶ美術展」として盛会であった。

オープニングの後、西健吉理事のギャリートーク、初日午後の会員によるトーク、会期中、土、日のギャラリーは二科ファンで賑わった。

コロナ感染対策を事前話し合い、出来る準備をして開催した。準備などの幾らかの反省は残るが支部同人、協力して開催出来た。

広報は例年のポスター、それにチラシを併せて作成した。地元新聞社広告2回、会期中の二科展作品紙上展(カラー作品6点)を掲載した。新聞紙面の事前広告の時期、タイミングなど効率よくできた。

前回に同様にウクライナ支援事業を継続した。SMサイズ・0号額絵販売チャリティーの売り上げの一部をユニセフを通じてウクライナ支援とした。

前回の第105回展の入場者数より約200名多い2,466人の入場者となった。

巡回鹿児島展は絵画130点(会員104、受賞者5、地元・宮崎21)、彫刻11点(全国巡回作品10点、地元会員+1点)、写真88点(会員24点、受賞者59名、地元出品者6名)、デザイン93点(会員31点、受賞者56点、地元6点)を展示。以下、主催・公益社団法人二科会、南日本新聞社、後援・鹿児島県、協賛・薩摩白波。

終わりに巡回鹿児島展の今後の課題として支部同人の負担減額、展覧会パンフレットの見直し、広報の工夫などを検討したい。

二科鹿児島支部長 祝迫 正豊



ギャリートーク風景

ギャリートーク

	<絵画>				<デザイン>		<写真>	
3月 6日(日)	10:00~	西	14:00~	祝迫・餅原・平林			14:00~	菊川
3月12日(土)	10:30~	祝迫	14:00~	前田・野平	14:00~	延時	14:00~	米倉
3月13日(日)	10:30~	米田	14:00~	前田・有馬	10:30~	延時	14:00~	大田



開場式風景



初日、会場風景



チャリティー作品展示



彫刻部展示



デザイン部展示



写真部展示